

# 浅川ダムの地質・断層に関する 報告会

平成24年3月31日

長野県

# ダムにおける断層調査

# 断層がダムに与える影響

①地震による「揺れ」  
設計面での対応

②地表面に生じる「ずれ」  
地表にズレを生じさせる活断層の上にはダムを造らない

# 断層とは

- 一つの面を境にして、二つの岩体が相対的にずれているもの。
- 岩盤の中には多数の断層が存在する。
- ダム建設上支障となる断層は「活断層」。
- 活断層はいつか再び動くであろうと判断されるもので、現実に活動しつつあるわけではない。

# ダムにおける断層調査とは

## ・活断層の有無が調査の対象

活断層：最近の地質時代に繰り返し活動し、今後も活動する可能性のある断層

最近の地質時代：12.6万年前から現在まで

界/代	系/紀	統/世		階/期	年代/万年前
新生界/代	第四系/紀	完新統/世			1.117
		更新統/世	上部/後期	上部/後期*1	12.6
			中部/中期	中部/中期*2	78
			下部/前期	カラブリアン階/期	181
	新第三系/紀	鮮新統/世	上部/後期	ピアセンジアン階/期	258
			下部/前期	ザンクリアン階/期	360
	古第三系/紀	中新統/世		省略	533
		漸新統/世			
		始新統/世			
		暁新統/世			

\*1: Tarantian (タランティアン) 階/期, \*2: Ionian (イオニアン) が提案されている。

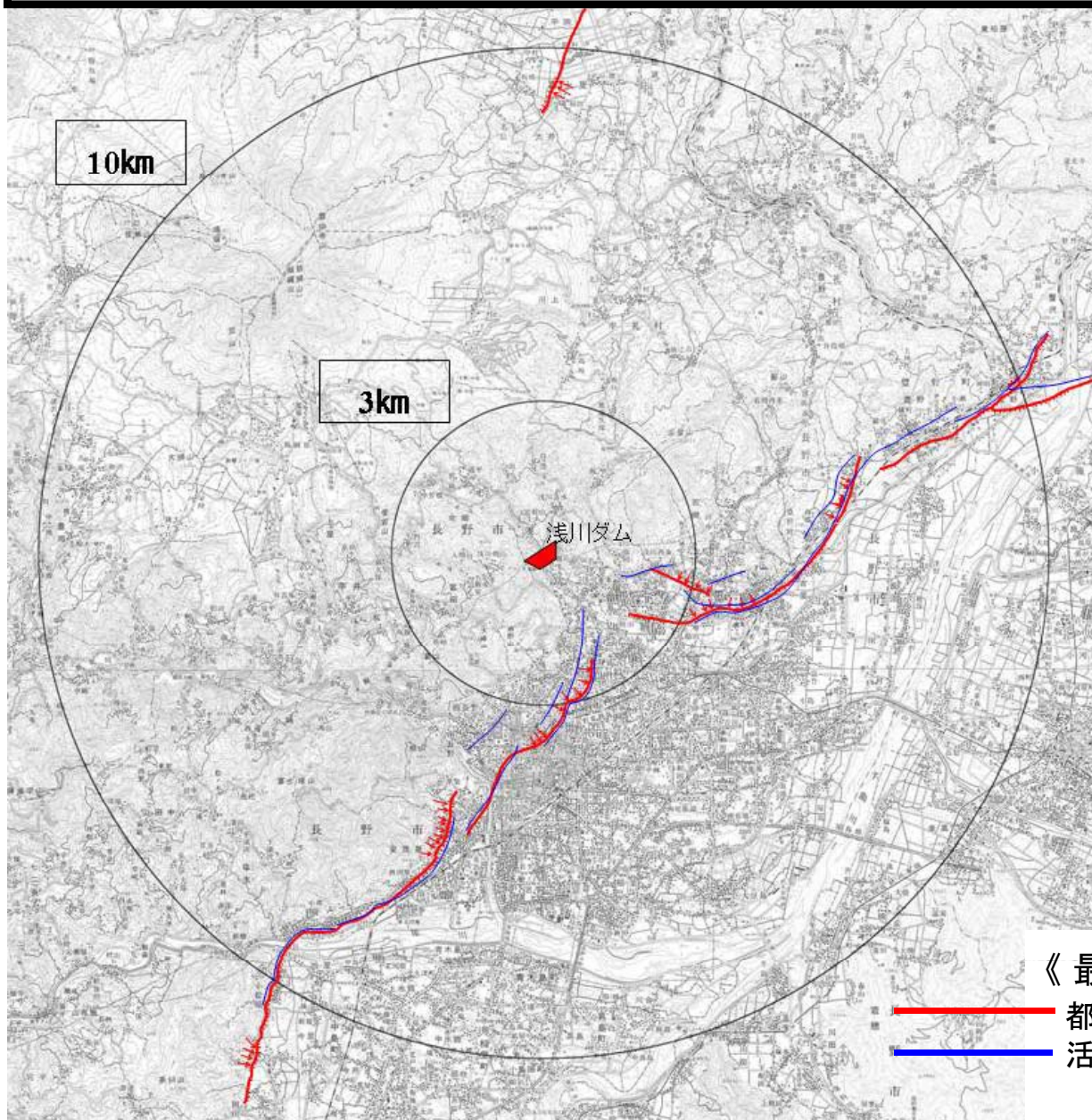
\*3: 西暦2,000年より, 11,700年前。

年代層所单元と地質单元: 日本第四紀学会HP(<http://quaternary.jp/.html>) から引用、加筆

# 調査の項目

- ① 活断層に関する文献の調査
- ② 空中写真判読による地形学的な調査
- ③ 現地における地層の露頭箇所への調査

# ①文献調査



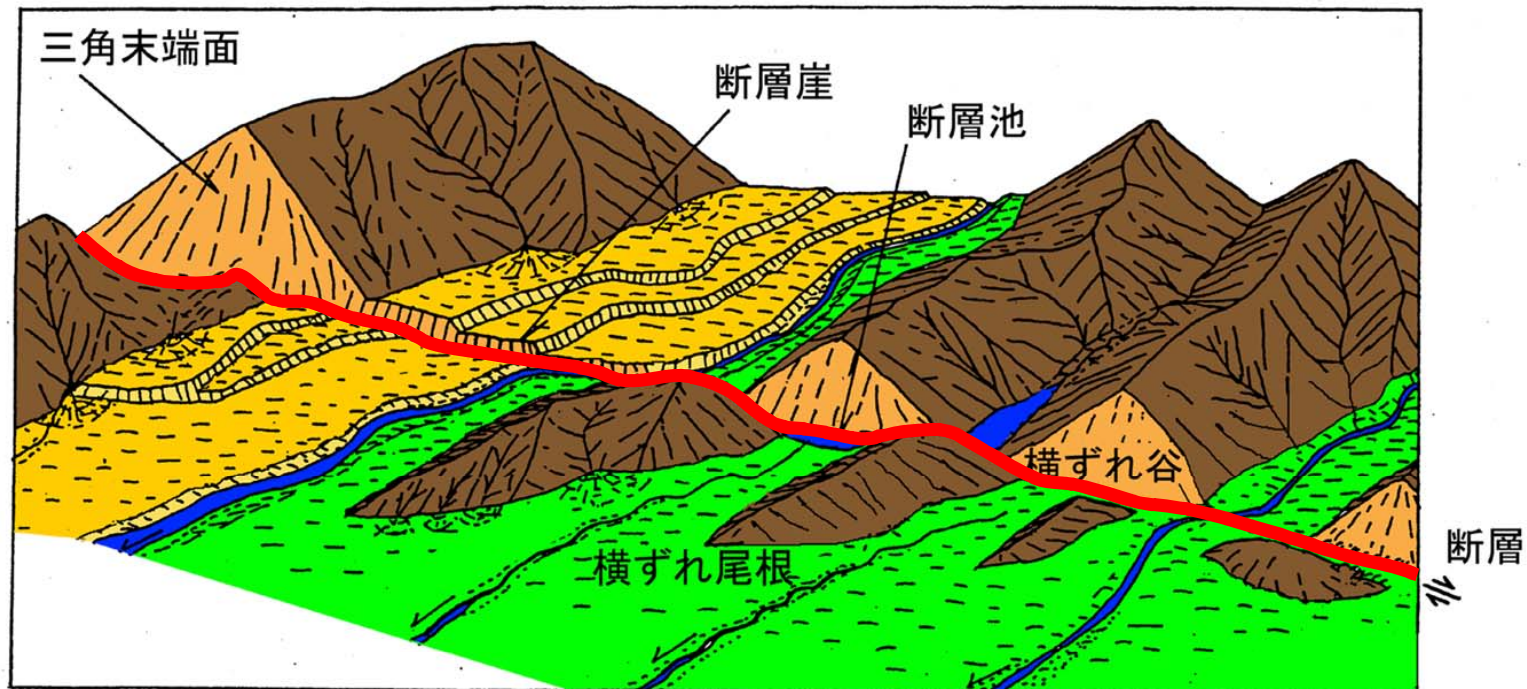
ダムから50km範囲  
の活断層を文献から  
抽出する。

《 最近の文献に示されている活断層 》

- 都市圏活断層図(「中野」)(H12.9)
- 活断層詳細デジタルマップ(H14.5)

## ②空中写真による地形判読

- ダムの周囲10kmを空中写真によって地形判読。
- 空中写真から、断層によって尾根や谷が線状にずれている部分を読み取ります。



岡田(1990)に加筆



## ③現地調査

- ・ ダムの周囲3km以内を直接現地で目視により確認。
- ・ 地形判読した線状の地形が活断層であるのかどうかを現地の露頭などで確認します。
- ・ ダム近傍に「活断層」がないことを確認できれば、ダム建設に支障はありません。

